

# しものせき Port News

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

## - Contents -

下関港海岸（山陽地区）

新川水門の進捗報告（水門設備取付け完了）

下関港海岸（山陽地区）

宮崎水門地区 整備概要

トピックス

JICA研修生の受け入れ

インターンシップ 高校生の受け入れ

しものせきクルーズシンポジウム&クルーズフェスタ



下関港海岸新川水門工事の様子(令和5年3月撮影)



1 下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

# 下関港海岸（山陽地区）

## 新川水門の進捗報告（水門設備取付け完了）

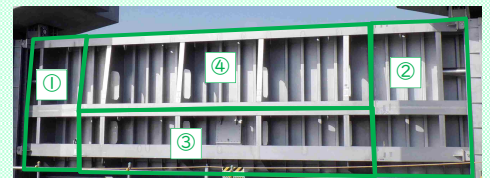
コンクリート部本体完成後、工場で製作したゲートや水門設備の取付けが完了しました。今後は、操作室等の電気設備を取付けます。



ひたい  
扉体の構造については、プレートガーダー構造とシェル構造がありますが、新川水門においては、経済的で必要な性能を満足するプレート、横主桁、縦桁で構成されたプレートガーダー構造を採用しています。

ゲートの重量は約33t!

扉体（ゲート）は、工場で製作後、4つ分割でトレーラーにて搬入し、トラッククレーンを利用し取付けを実施しました。その後、ボルト締め、溶接を行い一体化を図っています。



ゲートは左岸側、右岸側、中央部を上下に分割



ゲート搬入状況



ゲート取付け状況

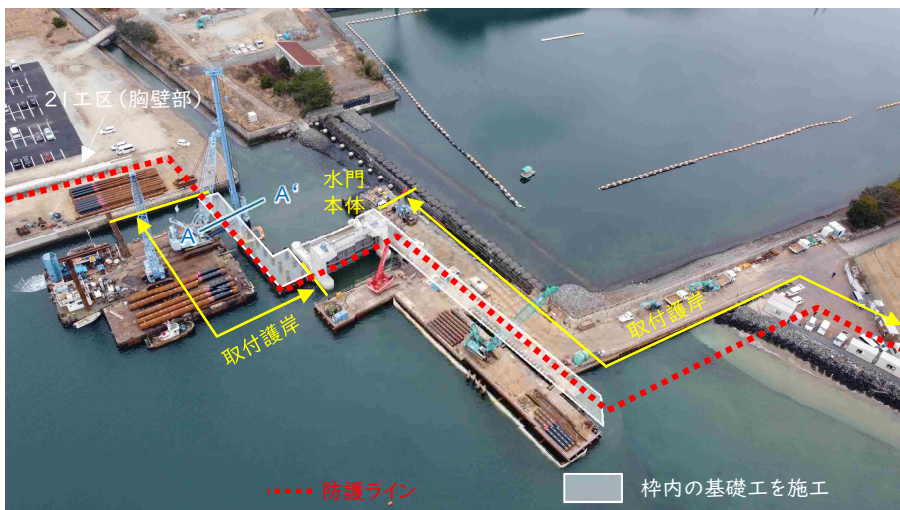


溶接状況

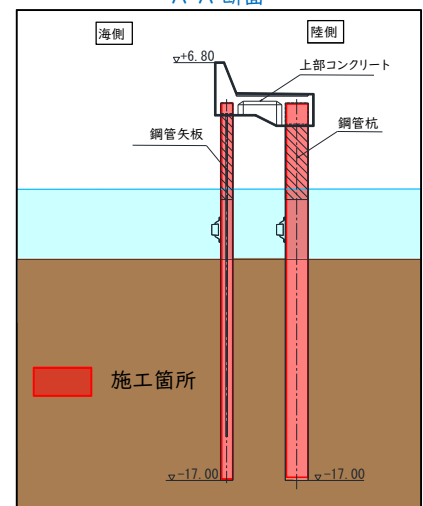
### 【取付護岸進捗状況】

新川水門取付護岸の基礎となる鋼管矢板及び鋼管杭の打設も平行して作業しており、打設完了後は、取付護岸の上部コンクリートの打設に取りかかる予定です。

※「鋼管矢板の打設の流れ」については、2021 Summer Vol.19を参照ください。



A-A'断面



# 下関港海岸（山陽地区）

## 宮崎水門地区 整備概要

だんぐがわ

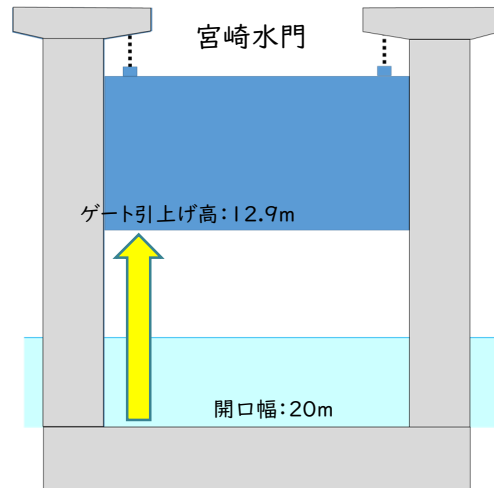
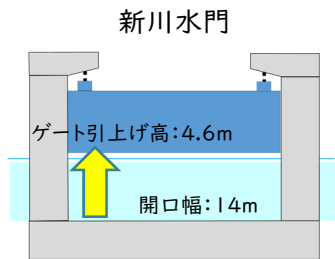
宮崎水門は、長府地区の宮崎船だまり、壇具川河口部に設置する水門で、新川水門と同様に水門を整備することによって、高潮や津波などが発生した際、河口から市街地への海水の浸入を防ぐことができます。

水門設置位置の内側（港内）には、宮崎船だまりがあるため、水門の敷高、ゲートの引上げ高や開口幅について、水門下を船舶が通行できるよう考慮しており、船舶の通行がない新川水門と比べ、大きな水門の設置を計画しています。



位置図

宮崎水門のゲートの面積は、新川水門の約3.4倍！



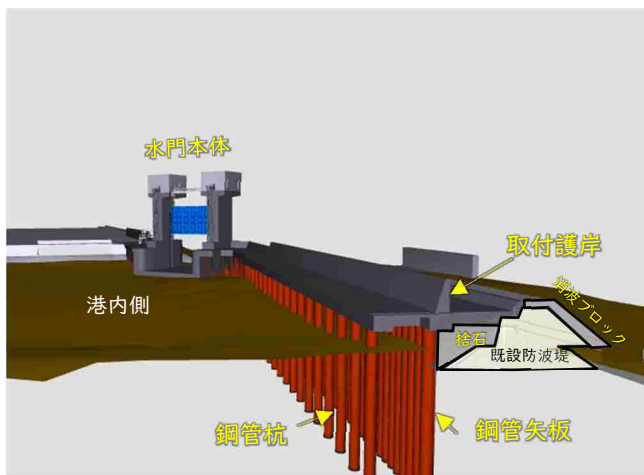
新川水門と宮崎水門の大きさイメージ



宮崎水門地区完成イメージ図

宮崎水門は、水門本体、取付護岸、防波堤工区と工区分けしており、水門本体の施工に着手すると水門の内側に大きな重機等を海上から搬入することができなくなります。

そのため、港内側（既設防波堤の内側）から施工する防波堤工区を先行して整備する必要があります。今年度から防波堤工区の護岸整備に着手しています。護岸の構造は、新川水門の取付護岸と同様に、「棚式」の構造としており、既設防波堤を考慮した断面としています。まずは、護岸を整備するための作業場（ヤード）等の整備を行い、現在、護岸の基礎となる鋼管矢板及び鋼管杭打設を開始しています。



宮崎水門（防波堤工区）イメージ図



宮崎水門（防波堤工区）鋼管杭打設状況



### 3 トピックス

## JICA研修生の受け入れ

令和5年2月1日、JICA研修生16名が、本港地区 細江ふ頭の利用状況や景観を活かしたウォーターフロント開発状況、下関港海岸事業の整備状況(壇ノ浦・みもすそ川地区)を視察しました。今回、九州地整の新たな取り組みとして、九州管内の国際業務に関心を持つ職員5名が英語にて事業概要や現地の紹介をしました。

JICA研修とは・・・JICA((独)国際開発機構)が実施している研修で、発展途上国の関係者に日本に来てもらい、日本の高い技術等を学んでもらう研修。



英語での事業概要説明 (所内にて)



英語での本港地区の説明 (細江ふ頭にて)



みもすそ川公園にて

## インターンシップ 高校生の受け入れ

令和5年2月8日～10日の3日間、下関工科高等学校の1年生3名がインターンシップで来所し、当事務所の仕事の内容や職場の雰囲気学びました。

本港地区、西山地区、海岸保全施設等の利用状況を通じて、港湾・海岸施設の役割、必要性を学び、工事現場では、構造物のスケールを感じてもらい、最終日には、インターンシップで学んだことをレポート発表しました。今後の進路選択等に活かしてもらえればと思います。



事務所長による下関港の紹介



現場見学 (新港地区)



レポート発表

## しものせきクルーズシンポジウム&クルーズフェスタ

令和5年2月17日に下関市主催、下関港湾協会共催(九州地方整備局は後援)で「しものせきクルーズシンポジウム2023」が開催され、最新の国内外のクルーズ動向の情報提供や「今後のクルーズ客船受入と上質な寄港地観光の提供に向けて」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

翌日には、昨年引き続き、「下関港クルーズフェスタ2023」が開催され、クルーズ船の特徴等を紹介する「クルーズトークショー」やクルーズ関連PRブースを巡ってクイズに正解するとクルーズに因んだ景品が貰える「クイズラリー」を行い、イベントを通じて、地域住民や観光関係者へ船旅の楽しさや魅力を紹介していました。



パネルディスカッション  
(下関グランドホテル)



クルーズフェスタの様子  
(シーモール下関2階サンパティオ広場)



国土交通省 九州地方整備局  
**下関港湾事務所**

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1  
TEL (083) 266-3291  
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」  
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**  
受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

